

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告(その29・30)です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

◇ 企業紹介

【鍋屋バイテック株式会社】

真空中で使用できるねじや、高減衰納ゴムカップリングなど、+αの価値を付けた商品を製造しています。商品は8万点を超え、約2万社と取引があります。

【HP】 <https://www.nbk1560.com/>



SDGs	取 組 中							
		4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・今回の講義を受けて一番印象に残ったのは、鍋屋バイテックさんのモットーでもある「良い製品は良い環境から」という言葉です。実際、僕も鍋屋バイテックさんの「働く環境」にすごく魅力を感じました。例えば、社員さんが資格試験を受け易いように、英会話や中国語の講座が無料で受けられたり、社内にプールや音楽ホールがあって、家族ぐるみで楽しめたり。残業時間も少なく、休みも多い、とのことで社員さんのことを大切にしていることが伝わり、また、「働くって楽しそう」とも感じました。

・私が今までにイメージしていた働く場所としてのイメージと違う点が多くあり、新しいことを学べたように思いました。鍋屋バイテック会社さんでは、どの社員にとっても働きやすい環境が整えられていることが話を聞くだけで伝わってきました。頑張ったらその分認めてもらえる、そして、自分に返ってくる、頑張る事の楽しさを知れる会社であり、岐阜県に住み続けたい人にとって大切な場所のように感じました。

・敷地内に美術館やプールがあり、社員旅行やパーティーがあったりして働きやすい環境が作られていて凄く思いました。また、社員全員が仕事のやりがいがあって、そこもまた、働きやすい環境だなと思いました。それに加えて、不要になった部品を再利用している所も凄く思いました。鍋屋バイテックさんは変化を大切にしている、その途中でどれだけミスしても改善すればいいという考えで仕事をしていてすごくいい事だと思いました。

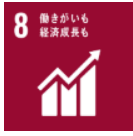

◇ 企業紹介

【株式会社 杉山製作所】

今から 60 年ほど前、関市で主に自動車部品をつくる会社として創業しました。鉄の加工、溶接を専門に培って、現在は技術を継承し、鉄家具、アイアン建材、店舗什器の製品作りに取り組んでいます。企画デザイン、設計、製造、販売まで一貫して行い、鉄へのこだわり、鉄への思いのこもった製品を作っています。



【HP】 <http://www.kebin.jp/>

SDGs	取組中			今後の目標	
------	-----	---	---	-------	---

◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・杉山製作所さんは、会社の中でより社員の方々が仕事しやすいように工夫されているなど感じました。自分にできることを最大限にすることで、どんどんモチベーションが上がるのだらうなと思いました。一般的な会社のように社内の上下関係が激しいのではなく、みんなが平行に並ぶことで、異なる役割同士の間でも関わりが増えて、柔軟な方針になっているなどと思いました。私も学校生活でもこのように柔軟な姿勢は大切だと感じたので、できる限り取り入れたいと思いました。

・杉山製作所さんは丈夫な鉄を家具に利用することによって、安全な生活を送ってもらおうとしているそうです。また他の企業では、SDGs が重視されてきてから SDGs の取り組みをスタートしているけれど、杉山製作所さんはもともと SDGs に関わる取り組みをしていたそうなのでびっくりしました。僕も杉山製作所さんのように先駆けて行動していきたいと思いました。

・3つの家具のブランドを手掛けており、特に「鉄家具」という鉄で作られた家具のブランドは社員が様々な作業を分担し、意見を取り入れて作られていくということや、社員一人一人が沢山の挑戦をし、学ぶことができるということが分かりました。

・杉山製作所は元より鉄家具の製作をしていた訳ではなく、車や列車の部品メーカーとして創立されていた。2000年頃から車などの部品から離れ、鉄家具に着目する様になった。家具と言えば木製と言われる中で、鉄製の魅力を伝えていきたいと社長さんは仰っていた。鉄は木に比べて頑丈な為、体積が小さくて済むから、よりスマートでお洒落なのが魅力。鉄にも木には無い魅力があると仰っていた。この講座で、一つの物事に対して、様々な視点・素材から見つめ、それぞれの長所を見つけることの大切さを学んだ。

・丁寧なものづくり、とても感動しました。使いやすく、デザインもよく、使い手の気持ちがプラスに向かうような、そんな思いを込めてつくられているのだと見ていて感じました。一人一人がやりがいを持っていて、会社全体の雰囲気もとても素敵でした。こんなあたたかな雰囲気を感じ

じる会社があったなんて驚きです。多くのことを学ばせてもらいました。

・家具といえば、木であるという概念を大きく覆された。鉄を使うことによって、木よりも丈夫な家具を作ることができるという斬新な発想がすごいと思った。また、写真を見てインテリアの一つとして鉄家具を置くだけで、パッと雰囲気が変わっていて、そのようなものを作るということがすごいと思った。一見鉄だと、どのような家具になるのだろうと思ったが、軽々しくて奇抜さはなく、よりインテリアをカッコよくしてくれる家具を作っているというのはステキだと思った。

・鉄を使って家具を作ろうというようなこだわりを持って仕事をされているのが伝わってきた。誇れる製品を作るための組織づくりが、すごく緻密で、その仕組みがあるからこそ、素敵でカッコいい製品が作れるのだろうなと思いました。

・自動車部品から鉄家具という全く別のジャンルに移すチャレンジ精神がすごいと思いました。鉄や金属加工を多く行っている関だからこそできるものづくりを、社員にとって働きやすい環境を考えながら行っている素敵な職場だと思いました。様々な職種の人と協力して作り上げること、新しいことにも進んで挑戦していくことの大切さが分かりました。

・杉山製作所の島田さんの話を聞いて、杉山製作所では小さな企業だからできること、例えば独自の組織づくりなどをしていてすごいと思いました。また、月一回のワークショップではデザイナーも参加し、みんなが納得できる製品づくりをしているというところがとても印象的でした。ただそれらよりも、鉄に強いこだわりを持ち自分たちの製品に誇りを持って仕事をしているということがすごいと思いました。